

調査員物語

シギチに熱中(症)しています…の巻

私、平川です。今シギチ(シギ・チドリ類)の調査をしております。暑いス！
後輩の大坪です



首やけ防止

調査は「大潮」の日を選びます。潮のサイクルはとても調査に重要なんです。



潮加減によって環境が変化すると見られる鳥の種類も変わりますので見易いところへ先回りしておく必要があります。だから古い干潟の中ではGPSがとっても便利！



うーん、まあ似たような模様しやがて…
(注)シギチは地味で類似種が多く、更に換羽で色が変わる。



あ、あ、あ、それにしては干潟はたまたまこの季節！
(注)シギチ調査は渡り鳥のため、8~9月(秋期)、4~5月(春期)に集中します。



あ!? アル? アル?
あれ! 平川さん、島にとり残されてるケケケ…



ヤレヤレ、シギチは識別もしづらい調査も大変だよ…
三脚



だからこそ、『通』にはかえってたまらない世界らしいですけどね。



Y津干潟などには鳥見歴30年以上のベテランがいっぱいいるからオレ達もタジタジだよな。
ほほう、何を調べですか?



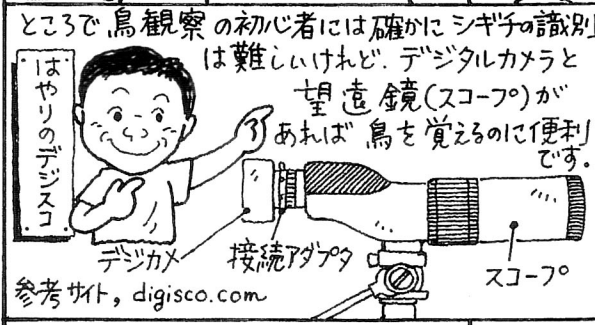
そういう人達からすると平川さんもまだまだヒヨコですよな!



ウルセー! おまえに言われたくねーよ!



ま、今後自然再生事業として海浜地帯、とくに干潟の重要性などもどんどん高まるわけで、こういうシギチの調査もきっと貴重な資料になるはずだぜ。
わかった?
ハイッ! 熱中症にはまって平川さんについてます



ところで、鳥観察の初心者には確かにシギチの識別は難しいけれど、デジタルカメラと望遠鏡(スコープ)があれば、鳥を覚えるのに便利です。
参考サイト、digisco.com



山の鳥の写真を撮る時よりも、かえってシギチ類はあんまり動かないから、ささぎる物も少ないしね。写し易いんです。



自分の撮った写真で個体の識別ができるわけですから印象も深くなること、いい写真だろ大坪、ホレ見ろ!
あー、ハイ、ホレ



どうです皆さん、ひと昔前、ボクたちヒギナーはこういうセンパイにネチネチいじめられながら覚えていくしか方法がなかったんですから!



ネチネチ、おまえなあ



逃げる時はシギチより速い!
コラーッ、おあつぽー、オレについてくるって、言っただろーか

原案:平川正詩(東京本社) 絵:飯塚 要